

改訂：2025 年 2 月 13 日

Cisco Catalyst IE9300 高耐久性シリーズ スイッチのパスワード回復

パスワード保護されたスイッチの回復

Cisco Catalyst IE9300 シリーズ スイッチのパスワードのリセットが必要になる場合があります。指定されたプロセスに従って、忘れたパスワードが含まれている保存された起動設定をバイパスし、新しいパスワードを設定します。

パスワードを忘れた場合の回復

このタスクの目的は、パスワードで保護されたスイッチを回復することです。忘れたパスワードが含まれている起動設定をバイパスし、パスワードをリセットするためにブートローダープロンプトの変数を変更するには、次の手順を実行します。

- パスワードの回復を無効にしていない場合にのみ、この手順を実行します。
- パスワードの回復を無効にした場合、紛失したパスワードや忘れたパスワードを回復するには、スイッチの設定を完全にクリアする以外に方法がありません。詳細については、『[Cisco Catalyst IE9300 Rugged Series Switch Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。

ステップ 1 スイッチをオンにして、Express Setup ボタンを約 10 秒間押します。

- 自動ブートシーケンスが停止し、スイッチがブートローダー（rommon）モードになります。詳細については、『[Cisco Catalyst IE9300 Rugged Series Switch Hardware Installation Guide](#)』を参照してください。
- スイッチプロンプトが rommon モードで表示されます。

```
switch:
```

ステップ 2 設定なしでスイッチを起動するには、このスイッチ変数を設定します。

```
Switch: SWITCH_IGNORE_STARTUP_CFG=1
```

これにより、保存された起動設定がバイパスされます。

ステップ 3 このコマンドを入力して、スイッチを起動します。

```
Switch: boot
```

スイッチの起動プロセスが完了したら、現在の未設定のスイッチを使用して、フラッシュファイルシステムから起動設定を回復し、以前の設定を保持することができます。起動後は、パスワードなしでスイッチにログインできます。

ステップ 4 ログインしたら、保存された設定を startup-config から running-config にコピーします。

```
Switch# copy startup-config running-config
```

ステップ 5 新しいパスワードを設定します。

```
Switch# configure terminal
```

```
Switch(config)# username admin and password admin
```

ステップ6 以前に設定したスイッチ変数をブートローダーから削除します。

```
Switch(config)# no system ignore startupconfig switch all
```

ステップ7 これらのコマンドのいずれかを実行して、新しい設定を保存します。

```
Switch# write memory
```

または

```
Switch# copy run start
```

スイッチは、保存された設定を今後のブートアップ時にロードします。



(注)

no system ignore startupconfig switch all および **write memory** コマンドを実行しない場合、スイッチは今後のリロード時に設定なしで起動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。